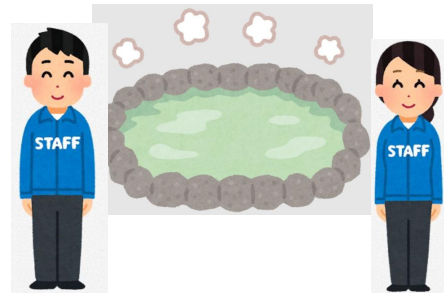


男風呂に女性スタッフ。

でも逆は… ???



私は温泉が好きで、県外まで行くこともよくあります。その中で、1番お気に入りの温泉があつて、半日以上過ごすこともあるほどです。綺麗な建物、広大で多種多様な温泉、夜景の見える露天風呂…。最高です。初めて行った時に、脱衣所で衣服を脱ぎ、タオルを準備して、さあ温泉へ！と、意気揚々と内風呂に足を踏み入れました。

するといきなりビックリです。女性スタッフが内風呂をスタスタと歩いています。楽しみにしていた温泉もそっちのけで、慌てて姿を隠しました。周りの男性客は、それを気にしない方がほとんどです。「私がおかしいのだろうか？」気を静め、とりあえずは温泉を楽しむことにしました。その後も、時間を置いてスタッフが何度か男風呂に立ち入って来ました。(簡単な清掃や、温度・水質の確認等をしているようでした)

それから何年もその温泉に行っていて、さすがにもう慣れてきましたが、行くたびにやっぱり気にはなってしまう。そして、思うのです。「これ、女風呂に男性スタッフが入っていったらどうなるんだ…？」と。想像するに、入浴者たちからフロントにすぐにクレームが入り、場合によっては通報されるのではないのでしょうか。

今回のコラムを書くにあたり、調べてみました。こういう風に男風呂に女性スタッフが入ることは、さほど珍しくないようで、とある弁護士さんの見解では、「異性の浴場の清掃が業務であれば、正当な行為である」とされるようです。しかし実際、男性スタッフが女風呂に入るという逆パターンは、おそらく存在しないのではないのでしょうか。存在したとして、すぐに客離れが起きそうです。また、私と同じように、女性スタッフが男風呂に立ち入ることに違和感を感じている方が、最近多くなってきているという記事もありました。

では、どうしたらいいのでしょうか。答えは単純、男風呂には男性スタッフを。女風呂には女性のスタッフを。しかしこれで万事解決…とはいきません。そもそも、両性同じだけのスタッフが雇用できていれば、おそらくこういう問題は起きていないでしょう。人員の問題上仕方なく、女性スタッフに男風呂を担当してもらっているはずなのです。男女が平等に雇用機会を与えられているのだとしても、どうしても男性スタッフが多い業種、女性スタッフが多い業種というものはあります。今回は、それが後者だったということかもしれません。

さらに調べてみると、とある温泉では、こういったトラブルを避けるために対応策を講じていました。その結果、この種のクレームが一切なくなったそうです。その対策とは、それほど大がかりでもなく、ただフロントの横に、「当温泉では、営業時間中に女性スタッフが全ての浴槽を清掃します」という看板を掲げるだけのものでした。思えば私も、最初に温泉に行った時に、フロントでその事実を知っていれば、そこまで驚くことはなかっただろうし、女性スタッフが男風呂に入る際に「失礼します」等のアナウンスがあれば、心証は違っていたと思います。「平等」とか「公平」って、とても大切なことだし理想的ですが、どうしてもそれが叶わないケースはあります。そんな時は、「理解を得られるように、伝える努力をする」ことがとても重要なんだと、顧客側の立場に立ってしみじみと感じました。

という以上の話題を、先日の大阪旅行中に考えつきました。地下鉄に乗って揺られながら、内容を必死に考える私。んっ？気のせいかな、この車両の乗客が私の方をチラチラ見ている気がする。あれっ？そういえば、なんかこの車両、女性の風貌が多いなあ。

あっ！これが都会で噂の女性専用車両か！！(°〇°)

なお、駅のホームにも車両のボディにも、この旨しっかり明記されていました。

当該車両に乗っておられた乗客の皆様、大変失礼をいたしました(_ _)

徳さん

